# 城西人文研究　既刊総目次

## 創刊号（1973年）

序……武　市　春　男
『城西人文研究』の創刊に際して ……蒔　田　栄　一
ニーチェとキリスト教倫理……木　阪　昌　知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について……貞　末　堯　司
意味と認識
——パース研究（4）—— ……西　勝　忠　男
シーハラヴァットパカラナ訳註（Ⅱ）
——第1章 第3・4・5話——……森　　祖　道
独白と対話
——ジョイスとベローの距離—— ……茂　呂　公　一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク……水　田　宗　子
内村鑑三おぼえ書き（その八）……岩　谷　元　輝
人間の社会的構造と疎外……松　浦　孝　作
『霊魂の系図』について
——Carlyle を中心として—— ……松　田　福　松
カフカの世界
——非ユダヤ的ユダヤ人—— ……山　口　　勲

## 第2号——蒔田栄一教授追悼論文集——（1974年）

巻　頭　言……武　市　春　男
バスク語の単文における語順の文体的価値について……堀　田　郷　弘
内村鑑三おぼえ書（その九）……岩　谷　元　輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造（1）……木　阪　昌　知
『サムラー氏の惑星』試論 ……森　　哲　夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考 ……太　田　　広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム（Ⅳ）
——マーケティングと宗教の関連において—— ……渡　辺　好　章
遠近法と身体性について……山　口　　勲
同一性（アイデンティティ）に関する諸問題——その一……帆　足　喜与子
涼袋稿『風雅艶談』浮舟部——翻刻—— ……黄　色　瑞　華

「紙」以前の書写の用材について……井口大介
故蒔田栄一教授　追悼……松田福松
ああ蒔田栄一先生よ……伊部政一

第3号——城西大学開学十周年記念論文集——（1975年）

アンデス古代文明の諸問題……貞末堯司
発見の哲学——パース研究（6）——……西勝忠男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成
——埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較——……田村正夫
鉄齋と華山……小野浩
日本民主主義研究序論……森田昌幸
遠近法と身体性——その哲学的意味——……山口勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's *The Bell Jar* and Joan Didion's *Play It As It Lays* ……水田宗子
『おらが春』の素材……黄色瑞華
日本におけるアンドレ・マルロー受容
——1941年（昭16）まで——……堀田郷弘
ジェイムズ・ジョイス研究——造形への意識——……茂呂公一
作品とその批評
——*Robert Elsmere* と "Robert Elsmere"——……萩原博子
司馬遷論……黒羽英男
三代日本主義の系譜について……松田福松

第4号（1977年）

論理の自律性について——パース研究（7）——……西勝忠男
カントの「定言命法」……山口勲
中央アメリカの考古学史
——先コロンブス期文化の研究を中心とした——……貞末堯司
クレアラ・アン・ペイター覚え書……萩原博子
『教育者としてのショーペンハウアー』から
——ニーチェと自然——……河内信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動……堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学——……陶山曖

冷たき牧歌
——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて——……永井豊実
『おらが春』の素材（続）……黄色瑞華
歌人「安江不空」……小野浩

第5号（1978年）

南アメリカの考古学史……貞末堯司
Manorathapūrani 源泉資料年代論……森祖道
大学英語教育の問題点（上）……鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）……萩原博子
『シンベリン』，皮肉な遊戯……戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて……山口勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960年2月22日）と
東京羽田空港におけるインタヴュー（2月29日）……堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）……陶山曖
ニーチェと自然（一）……河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって……黄色瑞華

第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために……山口勲
パーソナリティテストとしてのSCTに関する一考察
——特に応用とその解釈をめぐって——……駒崎勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（1）
——我国におけるジョイス評価の推移——……茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's
*Renaissance* ……Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」——……小野昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』——……河内信弘
全集本『おらが春』について……黄色瑞華

第7号（1980年）

ヤスパースとフッサール
——精神病理学の哲学的基礎——……山口勲
PANTUN——puisi dan puisi rupa——……黄色瑞華
国際水利法に関する一考察……土屋生

ジェイムズ・ジョイスの手法について（II）
——我国におけるジョイス評価の推移——……茂　呂　公　一
The Development of the Audiolingual Approach
——Trends in Language Methodology in the United States——
……Fumiko Tamura
『空騒ぎ』の冥と光——像りの力学——……戸　所　宏　之
「エンディミオン」における映像のあり方……永　井　豊　実
『ヴェニスの商人』における Venture について……小　野　　昌
カミュとニーチェ——『異邦人』と〈神の死〉——……村　岡　正　明
アンドレ・ジッドの方法（IV）——生命の美学——……陶　山　　曖
「騎士と死神と悪魔」
——『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐって——
……河　内　信　弘

第8号（1981年）

ウィトゲンシュタインのケムブリッジ……山　口　　勲
アメリカ文化論（I）……小松　光・金勝　久・茂呂公一・黒沢順三
シャルル・モーロンの「精神批評」（1）……越坂部　則　道
「高き山々の頂きから」
——『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み——……河　内　信　弘
思想家としてのニイチェ……小　野　　浩
『四山藁』の俳論……黄　色　瑞　華

第9号（1982年）

アメリカ文化論（II）……金　勝　　久
ジョイスのパドバ・エッセイについて……茂　呂　公　一
アンドレ・マルローの最初の美術論
《*La Peinture de Galanis*》（1922）について
——マルローの初期の美術論の研究（前）——
……堀　田　郷　弘
シャルル・モーロンの「精神批評」（2）……越坂部　則　道
教育場面における夢の活用（I）
——その背景としてのフロイトとユング——
……細　部　国　明
身・語・意の三業（tiṇi kammāni）と carita, saṅkhāra, samācāra
……池　田　練太郎

詩的コスモゴニーへの論理
——ランボー詩の内的世界——
……川那部　保　明
ハイデガー先生の想ひ出……小　野　　浩
〔研究ノート〕
俳諧連歌における謡曲の文句取り(一)……黄　色　瑞　華

第 10 号（1983年）

ウィトゲンシュタイン：太洋の測量技師
——逆限定のパトス—— ……山　口　　勲
アメリカ文化論(Ⅲ)……金　勝　　久
ジョイスのディケンズ・エッセイについて……茂　呂　公　一
教育場面における夢の活用(Ⅱ)
——夢と宗教—— ……細　部　国　明
Zur Entwicklung der deutschen Sprache in der DDR
……Kuniomi Uchimura
『失われた時を求めて』における作中人物の出現と
話者のまなざし ……北川原　哲　夫
カミュと〈他者〉……村　岡　正　明
〔書　　評〕
(Ⅰ) LE DASAVATTHUPPAKARANA
Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE
(Ⅱ) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA
Texte pāli et traduction par Jacqueline VER EECKE
……森　　祖　道
〔研究ノート〕
渭浜庵執筆一茶……黄　色　瑞　華

第 11 号（1984年）

〈人間=記号〉論について ……西　勝　忠　男
教育場面における夢の活用（Ⅲ）
——ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判—— ……細　部　国　明
Frühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst - Ⅲ.
Die Herausbildung der(verbalen) Satzklammer……藤　井　明　彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR.....Stefan Wundt
知と自我
——初期シェリング哲学の原理について——.....小林保則
歌人　安江不空.....小野浩
『我春集』の序文をめぐって.....黄色瑞華

第12号（1985年）

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題
——イタリア民族形成史の一こま——.....森田鉄郎
教育場面における夢の活用（Ⅳ）
——ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判——.....細部国明
ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学
——*Timber* の詩論を通じてジョンソンの詩を読む——.....平松哲司
Die Kommunistische Erziehung und ihre Wertvorstellungen.....Stefan Wundt
シャルル・モーロンの「精神批評」（3）.....越坂部則道
『我春集』から『株番』へ.....黄色瑞華
「研究ノート」
農村集落における精神的ムラ境の諸相
——茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として——.....小口千明
ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権
——「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説——.....畑尻剛
グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉.....鈴木敏夫

第13号（1986年）

巻頭言.....石南國
“鏡”の論理から“魂”の論理へ
——人間記号論序説——.....西勝忠男
北欧中世（スエーデン）における自力救済慣行
——実力社会の一考察——.....伏島正義
潮湯の偏在性に関する地理学的予察
——日本における海水浴普及との関連から——.....小口千明
ジョイスの“Exiles”における受難の思想について.....茂呂公一

Eloisa と Belinda の相違 ……石 川 郁 二
状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に
見られる共通特性……鎌 田 精三郎
R. Huch の〈スイスの春〉覚え書
——研究ノート——……鈴 木 敏 夫
J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって ……藤 井 明 彦
ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と
人物描写について……飯 塚 英 一
エアリエルの材源再考……門 野 泉
パトナム，シドニーの *sprezzatura* 精神
——宮廷世界の美学と「ルネサンス・
ヒューマニズム」の対峙—— ……平 松 哲 司
The Dimensions of the U. S.—Japanese
Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue
……古 川 友 章
神話概念の変遷II
——翻訳語としての『神話』をめぐって（上）——……天 沼 春 樹
自己言及のかたち
——『イリュミナシオン』「生活III」と「生活I」を読む ……新 宅 巖
フローベールにおける登場人物と場面……大久保 政 憲
『息 子』 アルトゥール・シュニッツラー
——翻 訳——……春 日 正 男
『バシュラールと過したひと夏』とその研究（I）……越坂部 則 道
アンドレ・ジッドの方法（VI）……陶 山 曖
アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書——
絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題……堀 田 郷 弘
「シルス・マリーア」をめぐって ……河 内 信 弘
日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策 ……大豆生田 稔
歌人 安江不空・序(3)
——大和歌の問題——……小 野 浩
『志多良』の序文をめぐって ……黄 色 瑞 華
高橋克巳論——虚無僧のパトス—— ……山 口 勲

第 14 号（1987年）

Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Atthakathās……Sodō Mori

キーツの『秋に寄せて』(二)
—第2連の情景— ……永井豊実
坪内逍遙とシェイクスピア
—帝劇『ハムレット』をめぐって— ……小野昌
TENSE and TIME in English……Seizaburo Kamata
コシンスキーの『自己芸術』：*Steps* をめぐって……繁田眞弓
Kaji Motojiros "Fliegen im Winter" ……Stefan Wundt
E. T. A. ホフマン『さびれた家』
—作話技術を中心に—……齊藤洋
バルザックの小説の提示部について……佐野栄一
〔研究ノート〕
ニーチェにおける詩人
—ニーチェの詩の理解のために— ……河内信弘
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……黄色瑞華
イェイツの「エーカーの草地」について
—〈悟り〉か〈狂気〉か—……小堀隆司
アポリネールの恋の詩と真実……堀田郷弘